



有限会社 知名御多出横
(知名オーディオ)
代表取締役 知名 亜美子

知名オーディオは、創業48年目を迎える、オリジナルスピーカーとアンプを作る会社です。創業者は、先代の知名宏師さん。現在、経営を担っているのは、知名亜美子氏です。自社のブランドの価値、職人、技術の承継へと力を注ぐ経営について、お話を伺いました。

TINA AUDIO

研究を重ねた完成系 臨場感ある リアルな音を再現

“音に酔う”至極の体感を届ける

「人です。創業から現在まで続けられたのも、とにかく製品が素晴らしい、支えてきた家族全員が先代を尊敬しているからです」。

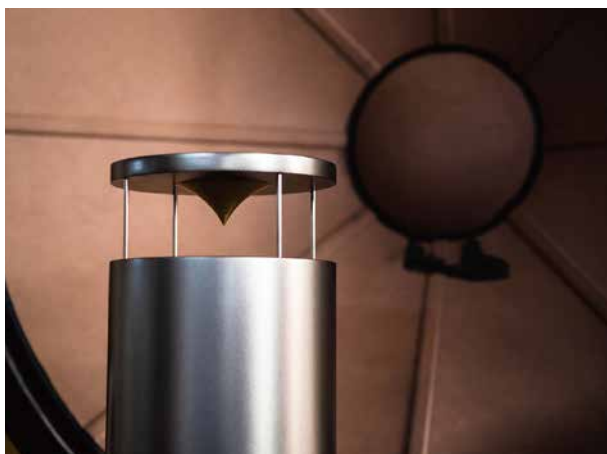
創業者が作り続けたモノの価値を汲み取り、次世代へと繋ぐ、知名氏が見せる笑顔が、自社の大切なブランドを守ることに、充実感と使命感が見られました。

絶対的な自社製品への自信

「弊社製品の強みは音質。絶対的な自信があります。純度の高い音が出るので音がきれいで、立体感がある。あと、言葉で説明するのは難しいですが、心やカラダ全体に響く、音に酔うと話す人もいるほど、感情的な感覚に働きかける音を持っています。だからこそ、製品への満足度が高く、顧客ロイヤリティが高い。技術自体が独自のものなので、競合他社も存在しません。また、同じ事業をしているところも減っていて、今後も成長してい

唯一無二の自社製品

「創業者は、先代の知名宏師。物作りが好きで、子供の頃から、家にならラジオやスピーカーを自分で作っていたそうです。電気系の学校に進み、米兵に販売する高級オーディオなどを販売する会社に進んでいましたが、その後、知名オーディオを創業しました。音楽を聴くのが好きで、子どもの頃に聞いて感動した音を目指したいという志があった。創業当初は修理がメインで、全国区で優秀な修理の整備マンだったようです。いろいろなオーディオに触れるうちに、納得のいく音に出会えず、自作に転向していった。お客さまが望む音が、メーカー品では応えられなかったというのもあると思います。先代は完全に技術者であり、40年以上『いい音を作って、それをみんなに聞いてほしい』という想いを持ち続けやってきました。子どものまま大人になったような、ピュア



ここにしかない
“唯一無二のスピーカー”
最高です

池間 大貴

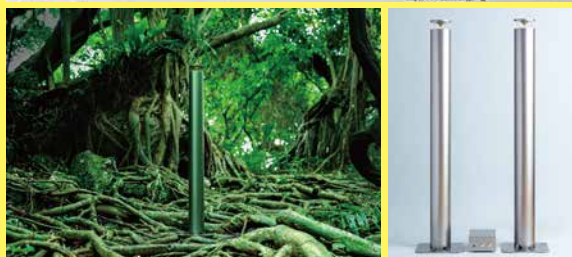
本店営業部

入庫年 平成30年
趣味・特技 野球、ゴルフ

(有)知名御多出横の製品は沖縄市中央のショールームで試聴できる他、県内外で展示会や商談会にも多く出店しています！イベント情報はHP等をチェックしてください★

企業情報

所属：胡屋支部



知名オーディオは、1975年創業のオーディオメーカーです。音の世界の開拓者であり創業者の知名宏師の、「音を生演奏に近づけ感動を伝えたい」を信念に、納得がいくまで研究を重ね作り上げたオーディオは、音を楽しむ多くのファンに支持されています。オーディオは、無駄を省きシンプルに。一つひとつ、ハンドメイドで仕上げています。スピーカーひとつで、すべての音域を再生。音域をそのまま再現することで、臨場感あるナチュラルな音を再現します。『いい音で、いい音楽を聴きたい』を叶えるオーディオです。

有限会社 知名御多出横
(知名オーディオ)

ショールーム：沖縄市中央3-16-6
工場：沖縄市中央3-13-11

098-938-3994

13:00~17:00 休 日曜

ホームページ <https://www.audio.co.jp>

ブランドサイト <https://tina.audio.co.jp>



まったくの素人から社長へ

「先代と主人がいとこ同士で、店を手伝ううちに任されることが増え、代表を引き継ぐ話になりました。頼まれると断れない性格のため、引き受けました。私自身は、スピーカーの知識はまったくない素人です。強みはなんですか？と質問されても、分からないほど。しかし、先代や職人が説明すること、弊社製品を愛してくれ

技術を守り、承継する

「女性が活躍するには、家族のサポートがないと続けられません。経営をするなかで、女性だから、主婦だから…という苦労はあまり感じない。業界的には男性が多いけど、素人だったことが、逆に入りやすい世界だったかもしれない。今後も、たくさんの方の耳に知名

ているファンからの話を聞き、学び、周りに鍛えられてここまで来ました。音の良さは、聴かないと伝わりません。それを広げるために、県内外問わず直接出向き、聴く場を設けます。大手本屋や百貨店、商談会など、実績を作ると販売イベントに参加する機会が増え、人とのつながりも広がっていく。おかげさまで、生産が追いついていないぐらいの受注をいただいています」。

販路拡大に注力してきた知名氏の話から、確かな自信を感じます。

オーディオが届いてほしいです。知財ブランドを守るため、まずは、技術の承継に力を入れています。そして、生産性をあげること。製品自体が素晴らしいので、プロモーションを強化するだけでも結果が出ます。しかし、市場が大きいところに行こうとは考えていません。『分かる人が認めてくれたらいい』と考えています。喜ばれる製品に関われる、こんな良い仕事はないです。知財をしっかり守り、伝えていきたいです」。

家族のサポートに感謝しながら経営に尽力し、女性が活躍する社会の先を走っている知名氏は、揺るがない自社製品への自信と、今後のビジョンを見据えていました。

